

テレフォニー以外の展開でのJabberグループ設定ファイルの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、クライアントサービスフレームワーク(CSF)デバイスがない場合に、Jabberデスクトップクライアントにグループ設定ファイルを提供する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Jabber Windows
- Cisco CallManager

使用するコンポーネント

- Cisco Jabber Windows 10.xおよび11.x
- Cisco CallManagerバージョン10.x以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。ネットワークが稼働中の場合は、設定変更による潜在的な影響について理解しておいてください。

設定

通常、グループ設定ファイルは、グローバルXMLファイルに適用される前に設定変更をテストするために使用されます。テストファイルは、[Product Specific Configuration]セクションのCSFデバイスのCisco Support Fieldファイルに添付され、TFTPサーバにアップロードされます。ただし、Jabber IM-Onlyまたはデスクフォンモードの導入では、シスコサポートフィールドが存在しな

いため、グループ設定を使用できません。このようなシナリオでは、`bootstrap.properties`ファイルを使用してグループ構成ファイルを添付できます。

注：Cisco TFTPサービスは、新しいXMLファイルがアップロードされるたびに再起動して、Jabberクライアントによってダウンロードされるようにします。

グループ設定ファイルを`bootstrap.properties`ファイルにリンクするには、次の手順を実行します。

1. C:\ProgramData\Cisco Systems\Cisco Jabberに移動し、`bootstrap.properties`ファイルを開きます。
2. 下に`ConfigurationFile:group-jabber-config.xml`を追加し、保存します。
3. 新しいxmlファイルをクラスタ内のすべてのTFTPサーバにアップロードします。
4. TFTPサーバを再起動します。
5. Jabberクライアントをリセットし、再度ログインします。

ヒント：新しいファイルがTFTPサーバで使用可能かどうかを確認するには、`http://<IPまたはFQDN of the server>:6970/group-jabber-config.xml`または`https://<IPまたはFQDN of the server>:6972/group-jabber-config.xml`と入力し、Enterを押します。ファイルの内容が使用可能な場合は表示されます。表示されない場合は、ファイルに構文エラーがあるか、TFTPサービスの再起動が正しく行われなかったことが考えられます。

確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

Jabberクライアントがxmlファイルをダウンロードしたことを確認するには、次の手順を実行します。

1. Jabberクライアントにログインし、問題レポートを収集します。[Help] > [Report Problem]に移動します。
2. レポートを抽出し、`jabber.log`ファイルでこれらの行を探します。

```
DEBUG [0x000010f0] [pters\config\ConfigStoreManager.cpp(165)] [ConfigService-ConfigStoreManager]
[CSFUnified::ConfigStoreManager::getValue] - key : [ConfigurationFile] skipLocal : [0] value:
[group-jabber-config.xml]
success: [true] configStoreName: [BootstrapConfigStore]
```

```
INFO [0x00000d78] [adapters\config\TftpConfigStore.cpp(492)] [ConfigService-TftpConfigStore]
[CSFUnified::TftpConfigStore::attemptTftpFileDownload] - *-----*
Downloading file from: https://10.106.92.196:6972/group-jabber-config.xml with a timeout of 10
seconds.
```

この行は、ファイルのダウンロードが成功したことを示しています。

```
INFO [0x00000d78] [ls\src\http\BasicHttpClientImpl.cpp(452)] [csf.httpclient]
[csf::http::executeImpl] - *-----*
```

```
HTTP response code 200 for request #12 to https://10.106.92.196:6972/group-jabber-config.xml
```

3. ファイルの可用性を確認するもう1つの方法は、`cachedTFTPConfigStore.xml`ファイルの `C:\Users\<username>\AppData\Roaming\Cisco\Unified Communications\Jabber\CSF\ConfigCache`の場所を確認する方法です。このファイルをテキストエディタで開き、内容が正確であることを確認します。

注：CUCMバージョンが11以上の場合、Jabberクライアントはポート番号6972とhttpsをダウンロード要求に使用します。CUCMバージョン10以下では、ポート6970にhttp要求を送信します。したがって、ダウンロードURLはCUCMのバージョンによってログで異なります。

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに使用できる情報を示します。

TFTPサーバにアップロードする前に、コンフィギュレーションファイルに構文エラーがないことを確認します。複数の方法があり、ファイルの内容を https://www.w3schools.com/xml/xml_validator.asp にアップロードするのが最も簡単な方法の一つです。または、ヒントとして示されている手順を使用して、これを確認します。ファイルに構文エラーがある場合、Jabberクライアントは正常にダウンロードしても解析できません。この場合、`cachedTFTPConfigStore.xml` ファイルは、言及されているパスには表示されません。